

佳作

おとうさんありがとう

鹿児島県
垂水市立協和小学校二年

坪内 蘭丸

ぼくはおとうさんと二人でくらしています。ぼくのおとうさんは、カンパチという魚のようしょくをしています。いつも朝早くからしごとにでかけます。毎日魚にえさをやるためにふねにたくさんえさをのせて、おきにあるカンパチが入ってるいけすに行きます。二年かけて、魚を大きくするためにがんばっています。生ものなので、そだてるのにたいへんくろうしています。また、たいふうなどのときは、かえりがすくおそくなります。そんなときは、ぼくはおとうさんのことがしんばいになります。でもおとうさんは、つかれてるのにもいつもえがおでかえってきます。それを見るとぼくは、うれしくなります。しごとがおわるといえのことをしてくれれます。そうじをしたり、ごはんをつくってくれます。そうじのときは、ぼくもかたづけをてつだったりします。りょうりをつくるおとうさんのてつだいもします。ごはんは、とってもおいしいです。休みの日には、ぼくをあそびにつれていってくれます。公園に行ったり、ゲームセンターにつれていってくれたり、買い物に行きます。公園では、おとうさんもいっしょに

なつてすべりだいをしたり、ボールあそびをしたりしてくれます。ぼくは、そのときとてもうれしいです。

買い物に行くときは、おとうさんとなにを買うか考えながらかいいものするのが楽しいです。

でもぼくは、そのあとおかしをかってくれるのが、ちよつとたのしみです。おとうさんは、えがおで

「いいよ。」

といってくれます。

また、ぼくがしゆくだいをしるときも、いっしょになって、勉強を教えてくださいます。もんだいがとけたときは、ほめてくれて、むずかしいもんだいときはやさしく教えてくださいます。だからしゆくだいいもまいにち楽しいです。

いつもおとうさんは、やさしいけど、おこるときは、すごくこわいです。ぼくがものをかたづけられないときや、ことばづかいがわるいときは、おにみたいにこわいです。でもおこられるけど、そのあととはすごくやさしくしてくれれます。ぼくは、おこってくれるおとうさんも大すきです。

毎日、しごともしがしいけど、ぼくのことをたいせつに思っているおとうさんにかんしゃしています。